

心があり、「大メコン川流域地域の人身売買～各国の状況とECPATの活動～」をテーマにしました。明治学院大学准教授の齋藤百合子先生にアドバイスをもらい、また夏に自分でアポイントをとってタイのバンコクにある子どもの商業的性的搾取問題対策NGOのECPAT本部を訪問し、インタビューをしながら論文をまとめました。

シンガポールからの高校入学生藤田雅之君は理工学に関心があり、特に新エネルギーに興味があつて「人工光合成について～ポルフィリン・フラーレン連結分子を用いた技術～」をテーマに研究しました。光電変換効率を高めるためにポルフィリン・フラーレン連結分子を金電極上に密に充填するという仮説を考え、京都大学教授の今堀博先生にアドバイスをもらいました。

イギリスの現地校からの中学2年編入生の佐久間文さんはバーチャルリアリティに関心があり、VRを社会的に役立てる

方法として「VR観光旅行による長期入院患者・末期患者への精神的治療又はQOL改善の可能性」をテーマにしました。VR関係のサイエンスキャンプにも参加し、埼玉工大工学部教授井門俊治先生、慶応義塾大学助教授の南澤孝太先生、早稲田大学客員研究員李在麟先生にアドバイスをもらいながら、末期患者にVR海外旅行を体験してもらいQOLを改善する仮説をまとめました。

☆

研究の中身はこんなにひとり一人とても深いものがありますが、これを伝えるスキルがあつて初めて社会に良い影響を与えることができます。生徒にそのことを身をもって体得させます。

編集長松本氏はこの日、インドネシアに出張で不在だったため、山田先生から総合指導をいただきました。「Study Skills MEIKEI Method」プレゼンテーションの巻、まだまだ続きます。

平成22年 茗溪学園高校 個人課題研究田代ゼミ 研究発表交流会@早稲田大学 松本・山田ゼミ									
2010年11月27日 @早稲田大学西早稲田キャンパス20号館									
第一会場 永井・阿部					第二会場 小泉・松崎				
司会									
1	11:00-11:15	瀬口由貴	小児急性リンパ性白血病～予後予測因子から見た層別化治療～	医学	清浦宏泰	原発性免疫不全症へのサイトカイン療法の優位性		医学	
2	11:15-11:30	加藤麻友美	アルツハイマー病の原因と治療法～免疫療法によりアルツハイマー病の原因といわれるアミロイドベータたんぱくを減少させることができるか～	医学	荻原 東	免疫におけるサブレッサー細胞の活性化		医学	
3	11:30-11:45	曾我紫央里	現代日本の経営の現状と問題点の解決方法～企業比較とマネジメント～	経営学	小山由佳子	カエルの減少とカエルツボカビ～両生類の減少の原因とされているカエルツボカビ症について～		生物学	
4	11:45-12:00	谷口咲輝	砂漠化進行を抑える解決方法～アイスプラントからみる砂漠化対策～	環境科学	奥泉真璃	サイトカインL-12とFN-γによる結核の予防と治療～解決策としてのNAワクチン～		医学	
5	12:00-12:15	都築有里	カボチャの安全対策～ファイトレメディエーション技術～	農学	清水南希	大メコン川流域地域の人身売買～各国の状況とECPATの活動～		国際支援	
6	12:15-12:30	徳山彰秀	ニューロン分化誘導法を用いた神経障害治療	医学	四宮有紗	アトピー性皮膚炎治療～核酸医薬NF-κBデコイヌクレオチドを用いて～		医学	
7	12:30-12:45	増本明日香	犬肥満細胞腫の治療法～分子標的薬『グリベック』の肥満細胞腫への効果～	獣医学	金丸詩織	日本国内に存在する外来魚の駆除 ～琵琶湖～		環境科学	
8	12:45-13:00	木下直美	精神疾患に対する代替補充療法におけるアロマセラピー～自殺企図のある者と不眠に対する治療法について～	医学	西浦愛美	尋常性瘰癧の発生とその治療法及び治療薬について		薬学	
司会	小山・荻原				加藤・瀬口				
9	14:15-14:30	小泉 恵	HIV感染者に対する免疫療法の有効性	医学	永井日香里	Preventing Mother-to-Child Transmission of HIV/AIDS in Sub-Saharan Africa		国際看護学	
10	14:30-14:45	藤田雅之	人工光合成について～ポルフィリン・フラーレン連結分子を用いた技術～	理工学	阿部英恵	経口免疫寛容誘導によるアレルギー治療はどこまでできるか		医学	
11	14:45-15:00	佐久間 文	VR観光旅行による長期入院患者・末期患者への精神的治療又はQOL改善の可能性	情報学	白水秀幸	高分子L薄膜形成法～高分子L薄膜形成法における問題点とその考察～		理工学	
12	15:00-15:15	奥みなみ	リチウムイオン電池～開発から将来展望までのすべて～	理工学	波賀満里奈	赤潮の発生原因と発生状況		環境科学	
13	15:15-15:30	石井拓登	Sudden Infant Death Syndromeの脳幹における-hydroxytryptamineの関係	医学	塙 恭子	食事指導による尿路結石の再発予防法		医学	
15:30～					全体講評 山田先生				

茗溪学園中学校高等学校
〒305-8502 茨城県つくば市稲荷前1-1
TEL: 029-851-6611(代) FAX: 029-851-5455
HP: www.meikei.ac.jp E-mail: entry@meikei.ac.jp

茗溪生の個人課題研究の、早稲田大学での発表会の紹介です。
今年は発表希望者が多くなり、2会場に別れて実施でした。
茗溪生にとって、大学の教室で発表が貴重な経験になると間違いありません。そして、その発表を聞く私のクラスの学生にとっても、研究内容のレベルの高さと立派な発表が、大きな刺激となります。
早大生に代わり、茗溪学園の高校生諸君に心から感謝します。